

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Bブロック1回戦＞

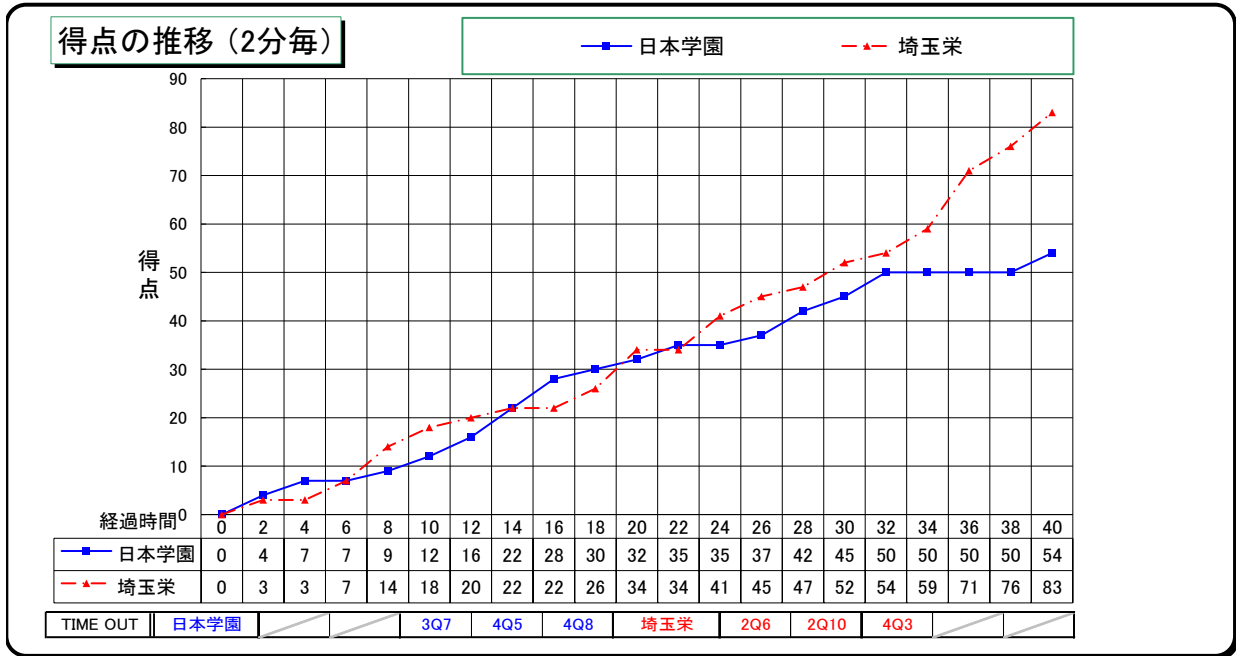
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Dコート	第2試合 10:30～													
<チームA> 日本学園 東京		54 <table border="0"> <tr><td>12</td><td>1Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>20</td><td>2Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>13</td><td>3Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>9</td><td>4Q</td><td>31</td></tr> </table>		12	1Q	18	20	2Q	16	13	3Q	18	9	4Q	31	<チームB> 埼玉栄 埼玉	
12	1Q	18															
20	2Q	16															
13	3Q	18															
9	4Q	31															

主審: 坂 美佑紀(茨城) 第1副審: 阿久沢 尚夫(群馬) 第2副審: 鈴木 峻伸(茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	西垣 魁	5	1	1	6	3	4	3		3		
○	5	小柳 真心				1		2	2		1		
◎	6	増田 道夢	3			7	3	8	2	1	3	1	
○	7	磯部 煌輝		1					1				
○	8	佐野 獅忠	9	3	7	3			1			1	
◎	9	沼倉 悠樹	9		4	2	5	5	6	2	4	1	
○	10	須田 朝連 ファルーク	1			7	1	2	1	6	6		
○	11	増淵 莉玖											
○	12	高橋 昂也	7	1	2	2	4						
◎	13	鈴木 洋平	6	2	11	4			1		2		
	14	宮澤 和											
◎	15	大久 竜生	14			5	16	4	6	3	5	8	5
	16	伊藤 詩恩											
	18	市岡 佑太											
	21	堀込 健汰											
		コーチ 布施 明史											
合計			54	6	26	10	53	16	28	16	12	27	8

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	0	白濱 瑛良			2					1			
○	1	後藤 悠大										1	2
○	3	鹿 夏哉人								1			
○	5	伊東 隼人	3			1	4	1	3			1	2
○	7	齋藤 壮悟											
◎	8	眞壁 啓太	17	3	5	3	11	2	2	1	1	4	6
○	17	松本 昂也	4		1	2	4			3	2	5	
◎	20	横島 星七	6			3	8		2	1	1	1	1
○	23	岡田 悠希	5			2	7	1	1		3	5	1
○	25	萩原 千明貴	11			5	13	1	1	4	4	3	
○	26	小原 強	2	1	1	1						1	
◎	34	孫 啓剣	12			5	11	2	2	4	3	6	
○	35	平川 光流	2		1	1	2			1	2	1	5
◎	47	椎名 勇翔	13	3	7	2	3					1	4
◎	77	中谷 月陽	8		2	3	8	2	2	2	3	6	4
		コーチ 伊藤 裕一											
合計			83	6	19	28	72	9	13	18	19	35	25

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 谷中 頌太

Bブロック第1試合、白色のユニフォームの日本学園と、橙色のユニフォームの埼玉栄の対戦。

第1Q、日本学園、埼玉栄ともにハーフコートマンツーマンでスタート。日本学園が強度の高いディフェンスから#4西垣の速攻につなげ先制。埼玉栄は#47椎名の3Pを決める。その後、お互いにディフェンスが強調される展開となるが、残り時間約3分、埼玉栄が2-2-1のオールコートプレスで流れを掴むと、#47椎名の3P、#34孫の連続得点で抜け出し、12-18で第1Qを終了。

第2Q、埼玉栄は連続してオフェンスリバウンドを奪うが、得点につながらない。一方、日本学園は#15大久のポストプレイや#13鈴木の2連続3Pで効果的に得点を重ねる。残り3分47秒、16-4のランをつくられたところで埼玉栄がタイムアウト。タイムアウト明け、2-2-1プレスを仕掛け相手のミスを誘発する。#8眞壁のドライブや#20横島の速攻、#77中谷のゴール下など連続して得点に繋げ、第2Q32-34で終了。

第3Q、日本学園の#9沼倉がドライブで先制する。対する埼玉栄は#8眞壁のパスカットから#5伊藤の速攻につなげる。得点後、2-3ゾーンを組むチェンジングで日本学園の得点を抑える。日本学園は残り3分58秒にタイムアウトを請求し、展開の修正を図ろうとする。タイムアウト後、#15大久のゴール下や#8佐野、#12高橋の3Pで得点するが、埼玉栄も#8眞壁が3Pで応戦し、45-52で第3Q終了。

第4Q、日本学園の#15大久がフリースローを2本、#8佐野が3Pを決め追い上げをみせる。しかし、埼玉栄が残り時間7分6秒でタイムアウトをとると、#8眞壁の2連続3P、続けて#47椎名の3Pも決まるなど、3連続の3Pで一気に流れを引き寄せ、引き離しにかかる。日本学園は残り時間5分30秒でタイムアウトをとるが、流れを変えることができず、その後も埼玉栄が速攻などから得点を重ね、最終スコア54-83で勝利をおさめた。